

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和3年	中学1年		芸術	音楽	2
教科書		補助教材			
教育芸術社		ボーカロイド教育用Ⅱ for iPad (アルトリコーダー)			

年間指導目標
生涯にわたって音楽を愛好する土壌を作る

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> 校歌を覚えよう (アルトリコーダーに親しもう)(ギターに親しもう) ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> 校歌を覚え、歌えるようにする 楽器の基本的な奏法を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> 6年間歌う校歌をしっかりと覚え、愛校心を育むと共に歌う楽しさを味わわせる
	後半	<ul style="list-style-type: none"> (アルトリコーダーの上達を目指そう)(ギターの上達を目指そう) ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> 読譜力と演奏能力を定着させる
2学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> 混声三部合唱にチャレンジしよう ※感染症の状況によっては変更の可能性有り 	<ul style="list-style-type: none"> 混声三部合唱で美しくハーモニーを表現する。歌詞の意味を歌で表現する 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間とハーモニーを作ることの楽しさを味わわせる
	後半	<ul style="list-style-type: none"> (アルトリコーダーの上達を目指そう)(ギターの上達を目指そう) ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> 読譜力と演奏能力を定着・向上させる
3学期		<ul style="list-style-type: none"> 自分なりのメロディーを作曲しよう (アルトリコーダーの上達を目指そう)(ギターの上達を目指そう) ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用し、音楽を通して自己表現する 楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用し、音楽を通して自己表現することで音楽をより身近なものとする 読譜力と演奏能力を定着・向上させる

評価方法	実技試験、ノート検査
学習方法	教科書、楽器、ICT機器を用い、実技中心の活動を行う
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	<ul style="list-style-type: none"> 追試験やレポートを課す

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和3年度	中学1年		芸術	美術	2
教科書			補助教材		
光村図書『美術1』 38 光村 美術702			ポスターカラー		

年間指導目標
楽しく美術の学習に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	色の性質	絵の具の3原色	ポスターカラーの混色法、着色の仕方を理解する
	後半	鉛筆デッサン	幾何形体(六面体)、等	モチーフの特徴を捉え、美しい形を見いだす
2学期	前半	自然物からの構成	単純化による個性の強調、デザイン	感じ取ったことや考えたことを基に、絵に表す
	後半	自然物からの構成	単純化による個性の強調、デザイン	感じ取ったことや考えたことを基に、立体に表す
3学期		レタリング	明朝体、ゴシック体、等	伝える相手と内容を考えて発想を広げ、形や色を工夫して文字をデザインする。

評価方法	提出作品、制作・授業態度
学習方法	作品制作、作品鑑賞
注意事項	
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	作品鑑賞によるレポート提出

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和3年	中学2年		芸術	音楽	1
教科書			補助教材		
教育芸術社			アルトリコーダー		

年間指導目標
生涯にわたって音楽を愛好する態度を育み、高めていく

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	・（アルトリコーダーに親しもう）（ギターに親しもう） ※感染症の状況に合わせて選択	・楽器の基本的な奏法を身に付ける	・読譜力と演奏能力を定着させる
	後半	・（アルトリコーダーの上達を目指そう）（ギターの上達を目指そう） ※感染症の状況に合わせて選択	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする	・読譜力と演奏能力を定着させる
2学期	前半	・混声三部合唱にチャレンジしよう ※感染症の状況によっては変更の可能性有り	・混声三部合唱で美しくハーモニーを表現する。歌詞の意味を歌で表現する	・仲間とハーモニーを作ることの楽しさを味わわせる
	後半	・（アルトリコーダーの上達を目指そう）（ギターの上達を目指そう） ※感染症の状況に合わせて選択	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする	・読譜力と演奏能力を定着・向上させる
3学期		・音楽史を学んだ上で、主要作品を鑑賞し、音楽の美しさを味わおう	・音楽の美しさや多様性を味わい、自分なりに言葉で表現する	・音楽の美しさや多様性を味わい、音楽をより愛好する態度を育む
		・（アルトリコーダーの上達を目指そう）（ギターの上達を目指そう） ※感染症の状況に合わせて選択	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現を深める	・読譜力と演奏能力を定着・向上させる

評価方法	実技試験、ノート検査
学習方法	教科書、楽器を用い実技中心の活動を行う
注意事項	・特になし
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	・追試験やレポートを課す

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和3年度	中学2年		芸術	美術	1
教科書			補助教材		
光村図書『美術2.3』38光村 美術822.823			ポスターカラー		

年間指導目標
主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	幻想画	連想記述方式によって抽出された言葉を用いて絵画作品を創る。	非日常の情景を描くことで想像力を養うと共に描く喜び、自由な表現を楽しむ。
	後半	幻想画	彩色	テーマに準じて画面の空間、時間の設定。それに応じた彩色を行う。
2学期	前半	色の性質	絵の具の三原色 色彩の三要素	絵の具の混色法、着色の仕方の理解。 色の種類と性質の理解。正確な計量。 筆使いの法則。
	後半	平面構成	色彩の応用 前半での色彩の基本を用い単純な形を組み合わせて彩色する。	混色の多様さを実践、体験しながら色彩への理解を深める。
3学期		レタリング	日本文字 和文体の種類 明朝体 ゴシック体	和文体の特徴。 定規・コンパスの使用法。

評価方法	提出作品を採点、平常点は授業態度も含む。
学習方法	参考作品の提示・エスキースの指導
注意事項	個性を十分に発揮させる。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	レポート提出

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和3年	中学3年		芸術	音楽	1
教科書			補助教材		
教育芸術社			アルトリコーダー		

年間指導目標
3年間の総まとめを行い、生涯にわたって音楽を愛好する態度の完成を目指す

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> （アルトリコーダーの基本的な技術を定着させ、表現を工夫しよう）（ギターに親しもう） ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> 読譜力と演奏能力を定着させる
	後半	<ul style="list-style-type: none"> （アルトリコーダーの上達を目指そう）（ギターの上達を目指そう） ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> 読譜力と演奏能力を定着させる
2学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> 混声三部合唱にチャレンジしよう ※感染症の状況によっては変更の可能性有り 	<ul style="list-style-type: none"> 混声三部合唱で美しくハーモニーを表現する。歌詞の意味を歌で表現する 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間とハーモニーを作ることの楽しさを味わわせる
	後半	<ul style="list-style-type: none"> （アルトリコーダーの上達を目指そう）（ギターの上達を目指そう） ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする 	<ul style="list-style-type: none"> 読譜力と演奏能力を定着させ、さらに向上させることで、アンサンブルをするための土台作りをする
3学期		<ul style="list-style-type: none"> 音楽史と他の科目の関連性を理解した上で、主要作品を鑑賞し、音楽の美しさを味わおう （アルトリコーダーもしくはギターの基礎的な技術を生かし、アンサンブルに取り組もう） ※感染症の状況に合わせて選択 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の歴史と人類の歴史の相関性や作品の美しさや多様性を味わい、自分なりに言葉で表現する 楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、アンサンブルをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の歴史と人類の歴史の相関性や作品の美しさや多様性を味わい、音楽をより愛好する態度を育む 読譜力と演奏能力を定着・向上させ、他者とのアンサンブルの楽しさを味わわせる

評価方法	実技試験、ノート検査
学習方法	教科書、楽器、ICT機器を用い、実技中心の活動を行う
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	<ul style="list-style-type: none"> 追試験やレポートを課す

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和3年度	中学3年		芸術	美術	1
教科書			補助教材		
光村図書『美術2.3』38光村 美術822.823					

年間指導目標
主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	物語を読んで	民話、童話を題材に絵を描く	想像力を働かせながらの実技ではあるが、衣装、舞台設定は資料を用いながらの解釈も求められる。
	後半	物語を読んで	彩色	テーマに準じて画面の空間、時間の設定。それに応じた彩色を行う。
2学期	前半	透視図法	1点、2点、3点透視図法の作画	定規、コンパスの使い方。 透視図法への理解。
	後半	透視図法の応用	単純な形を組み合わせて空間を描く	透視図法の理解と実践。
3学期		平面構成	多面構成シートを用いた平面構成	色彩の応用力、彩色の完成度を上げる。

評価方法	提出作品を採点、平常点は授業態度も含む。
学習方法	参考作品の提示・エスキースの指導
注意事項	個性を十分に発揮させる。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	レポート提出

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和3年	高校1年		芸術	音楽	2
教科書			補助教材		
教育芸術社			なし		

年間指導目標
中学での学びを生かし、より芸術の深みに触れる

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	・アルトリコーダー、ギター、ミュージックベルなどの基本的な技術を定着させ、表現を工夫しよう ※感染症の状況に合わせて選択	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする	・読譜力と演奏能力を定着させる
	後半	・日本語以外の歌曲に親しもう	・中学での歌唱を土台に、諸外国の音楽に触れる	・歌うことの楽しさと、音楽の多様性を感じ取らせる
2学期	前半	・アンサンブルにチャレンジしよう ※感染症の状況によっては変更の可能性有り	・さまざまな楽器や歌唱を用い、仲間と音楽を作る楽しさを味わう	・仲間と音楽を作ることの楽しさを味わわせる
	後半	・日本語以外の歌曲を歌いこなそう	・1学期の歌唱を土台に、外国語の歌唱能力を高める	・歌うことの楽しさと、音楽の多様性を感じ取らせる
3学期		・音楽だけではなく、様々な芸術との関連性を学ぶことで、芸術の価値をより味わおう	・音楽だけではなく、様々な芸術との関連性を学ぶ	・音楽だけではなく、様々な芸術との関連性を学び、音楽以外の芸術にも親しむことで、豊かな人生を行う一助とすることを目指す

評価方法	実技試験、ノート検査
学習方法	教科書、楽器、ICT機器を用い、実技中心の活動を行う
注意事項	・特になし
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	・追試験やレポートを課す

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和3年度	高校1年		芸術科	書道	2単位
教科書		補助教材			
教育出版『書道1』		特になし			

年間指導目標

書道の古典の臨書を通して表現の多様性を学び、それに基づいて自己の表現力を培う。芸術を尊ぶ心を養う。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	書の芸術性、書の美を求めて。楷書の学習。	九成宮醴泉銘、孔子廟堂碑、雁塔聖教序の鑑賞と臨書。	三種の古典の比較をとおしてそれぞれの特徴と書法を理解し、楷書の基本的な用筆法を習得する。
	後半	楷書の学習。	鄭義下碑と牛橛造像記の鑑賞と臨書。	両古典の比較をとおしてそれぞれの特徴と書法を理解し、その表現方法を習得する。
2学期	前半	行・草・篆書の学習。	蘭亭序の観賞と臨書。 蘭亭十三跋の鑑賞と臨書。 楷書と行書の比較。 篆書と草書の表現学習。	規範となる行書を生み出した王羲之の書道史上の重要性を理解する。趙孟頫の蘭亭序の学習と態度と成果を理解する。
	後半	隸書の学習。	隸書の特徴。曹全碑の鑑賞と臨書。木簡の鑑賞と臨書。	基礎的な隸書の学習により、隸書の特徴を理解し、用筆、運筆、結構法を習得して表現力を高める。
3学期		書道作品制作。	楷書・行書・草書・篆書・隸書・仮名を素材にして、自由に書く。	自分にしか表現できない書作品を制作する。

評価方法	・技術的な向上を心がけて意欲的に授業に臨む姿勢を重んずる。書展の鑑賞を通じたレポートなど積極的な取り組みを評価する。作品の提出物による技術面の評価を行う。
学習方法	古典の作品の臨書を中心とし、随時添削指導を行う。
注意事項	古典を正確に模倣する忠実な臨書を行うことは大事であるがそれに固執せず、生徒の個性を尊びそれをより良く開花できるようにすることを心がける。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	作品鑑賞によるレポート課題

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和3年度	高校1年		芸術	美術	2
教科書			補助教材		
日本文教出版美術1116 －日文・美1-302					

年間指導目標
美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する 心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	理想の住空間	独自の住空間を描く。 アイデアスケッチから 8つ切の画用紙に清書。	遠近法を意識しながら 仮想、現実の枠組みを意識せず に 独自の住空間を組み立ててみる。 。
	後半	デッサン	幾何形体を鉛筆デッサンで描く。 。	ここでも遠近法を用いながら 形の把握、陰影を描写する。
2学期	前半	紙粘土1	紙粘土を用いて野菜、パン、果 物の立体描写を学ぶ。	触感を用いた形態把握。 客観的な描写を学ぶ。
	後半	紙粘土2	自由な発想でイメージを立体化 してみる。	既存のものからの描写からイメージ を具現化する面白さを体感する 。
3学期		平面構成	波状曲線を用いた平面構成。	色彩の明度、彩度、色相を意識 した構成を行う。

評価方法	提出作品を採点、平常点は授業態度も含む。
学習方法	参考作品の提示・エスキースの指導
注意事項	個性を十分に発揮させる。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	レポート提出